

●適用拡大後の適用害虫及び注意事項(太字斜体下線追加内容)

a)適用害虫の範囲および使用方法
容

2016年3月16日付け登録内

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
さくら	アメリカシロヒトリ <u>モンクロ</u> <u>シャチホコ</u>	胸高直径 <u>6cm～10cm:8～12ml</u> 10cm～20cm:12～24ml 20cm～30cm:24～36ml 30cm～40cm:36～48ml 40cm～50cm:48～60ml 50cm～60cm:60～72ml 以降、直径が10cm増す 毎に12mlを追加する	幼虫発生前～発生初期 但し 新葉展開後	3回以内	樹幹注入
やぶつばき	チャドクガ	注入部直径 6cm～10cm:2ml 10cm～20cm:2～12ml 20cm～30cm:12～18ml 30cm～40cm:18～24ml 40cm～50cm:24～30ml 50cm～60cm:30～36ml 以降、直径が10cm増す 毎に6mlを追加する	幼虫発生前～発生初期		
プラタナス	プラタナス グンバイ	胸高直径 6cm～10cm:2ml 10cm～20cm:2～12ml 20cm～30cm:12～18ml 30cm～40cm:18～24ml 40cm～50cm:24～30ml 50cm～60cm:30～36ml 以降、直径が10cm増す 毎に6mlを追加する	新葉展開後		

*ジノテフランを含む農薬の総使用回数: 5回以内

b) 使用上の注意事項

- (1) 他剤との混用はさけること。
- (2) 樹幹の胸高直径または注入部直径が適用表に記載のない小径木や樹勢の弱った木、空洞や腐朽がある木、極端な老齢木には使用をさけること。
- (3) 薬剤注入孔は、ドリル等を用いて注入部位に斜め下方向に 45 度の角度で開けること。
- (4) 対象木が二股以上に分かれている場合は薬剤が問題なく分散する様にそれぞれを 1 本の木と見なして所定量を注入すること。
- (5) さくらに使用する場合は以下の内容に注意すること。
 - ① 薬剤の注入部位は主幹部の地上高 50～100cm 程度を標準とすること。
 - ② 直径 5～10mm、深さ 6～7cm の注入孔を開け、専用注入器を用いて 1 孔当たり 4mL を注入する。但し、注入孔直径 10mm 未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用すること。
 - ③ 小径木に使用する場合は、専用の注入補助器を挿入し使用、若しくは所定量を 2 孔以上に分散させること。
 - ④ 落花直後や展葉初期には薬剤が分散しにくいので、落花終了後の新葉が十分に展開した後に注入すること。
 - ⑤ アメリカシロヒトリ、モンクロシャチホコの幼虫発生前に注入することが望ましい。
 - ⑥ 花、葉、果実は食用に供しないこと。
- (6) やぶつばきを使用する場合は、以下の内容に注意すること。
 - ① 薬剤の注入部位は主幹部の地上高 10～30cm 程度を標準とすること。
 - ② 直径 5～7mm、深さ 6～7cm の注入孔を開け、専用注入器を用いて 1 孔当たり 2mL を注入する。但し、注入孔直径 7mm 未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用すること。
 - ③ 小径木に使用する場合は、専用の注入補助器を挿入し使用、若しくは所定量を 2 孔以上に分散させること。
 - ④ チャドクガの幼虫発生前に注入することが望ましい。
 - ⑤ 種子は食用に供しないこと。
- (7) プラタナスに使用する場合は、以下の内容に注意すること。
 - ① 薬剤の注入部位は主幹部の地上高 50～100cm 程度を標準とすること。
 - ② 直径 5～7mm、深さ 6～7cm の注入孔を開け、専用注入器を用いて 1 孔当たり 2mL を注入する。但し、注入孔直径 7mm 未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用すること。

- ③小径木に使用する場合は、専用の注入補助器を挿入し使用、若しくは所定量を2孔以上に分散させること。
- ④落葉期や整枝剪定後の展葉初期には薬液が分散しにくいので、新葉展開後に注入すること。
- (8)ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
- ①開花期はミツバチ等に影響を及ぼすおそれがあるので、落花終了後に使用すること。
- ②関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (9)本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬剤が付着すると変色するおそれがあるので、こぼさないように注意すること。
- (10)本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は林業関係機関、林業技術者等の指導を受けること。

以上